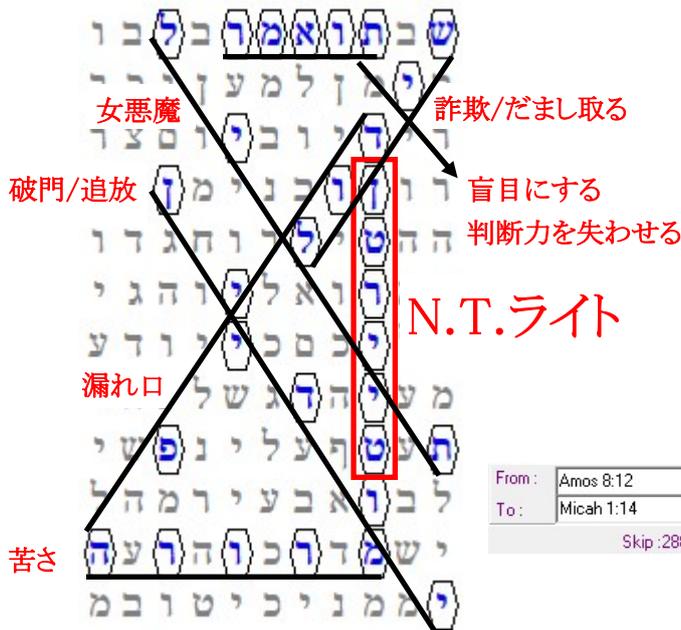


230: N.T.ライトはサタンの詐欺師、信者を盲目にし判断力を失わせ(約束の生命を)だまし取る。彼は苦い漏れ口、追放せよ。



anathema
bitterness
blind
cajole
Lilith
leak
N. T. WRIGHT

Verse	Chapter	Book	Letter	Skip
19	1	Obadiah עובדיה	י	288
4	1	Jonah יונה	ט	288
8	1	Jonah יונה	ר	288
12	1	Jonah יונה	י	288
1	2	Jonah יונה	י	288
8	2	Jonah יונה	ט	288

anathema 破門; 嫌われもの =ostracism 村八分, 仲間はずれ, 排斥;
追放; 陶片追放 bitterness 苦さ; 激しさ; 苦しさ blind ブラインド; ごまかすもの; 口実 目を見えなくする; 盲目にする; 判断力を失わせる =persuasion 説得; 説得力; 確信; 信仰 cajole 丸めこむ; 騙す; その

気にさせる; おだてる =fiddle フイドル; くだらなさ; 虚無, 空虚; 詐欺 (英俗)=swindle 詐欺; まやかし物 だます; だまし取る Lilith リリス, 女悪魔, 女デビル leak 漏れ口; 漏れ; 逃げ道や開口部; 秘密を打ち明けること; 漏電

●聖書学者N.T.ライト(N.T.Wright נ.ט. רייט)を検索、最小第一スキップ数288にてオバデヤ書/ヨナ書に暗号化。

●聖書表面テキストでの交差箇所(太字は交差単語) オバデヤ書:1章:19節 ネゲブの人々はエサウの山を獲、セフェラの人々はペリシテびとを獲る。また彼らはエフライムの地、およびサマリヤの地を獲、ベニヤミンはギレアデを獲る。ヨナ書:1章:4節 時に、主は大風を海の上に起されたので、船が破れるほどの激しい暴風が海の上にあった。ヨナ書:1章:8節 そこで人々はヨナに言った、「この災がだれのせいで、われわれに臨んだのか、われわれに告げなさい。あなたの職業は何か。あなたはどこから来たのか。あなたの国はどこか。あなたはどこの民か」。ヨナ書:1章:12節 ヨナは彼らに言った、「わたしを取って海に投げ入れなさい。そうしたら海は、あなたがたのために静まるでしょう。わたしにはよくわかっています。この激しい暴風があなたがたに臨んだのは、わたしのせいです」。ヨナ書:1章:17節(章節ズレ) 主は大なる魚を備えて、ヨナをのませられた。ヨナは三日三夜その魚の腹の中にいた。ヨナ書:2章:7節(章節ズレ) わが魂がわたしのうちに弱っているとき、わたしは主をおぼえ、わたしの祈はあなたに至り、あなたの聖なる宮に達した。

➡特に意味は読み取れず。

●N.T.ライトとは (N. T. Wright, 1948年12月1日 -)は、イギリスの聖書学者。「史的イエス第三の探求」、及び「パウロ神学への新しい視点」等の研究で知られる。極めて多産な神学者、聖書学者であるが、主要作品群は、学術色の強い、現在も執筆が続けられているキリスト教の起源を巡る研究作品シリーズ、より広い読者層向けに書かれた三部作、また新約聖書の平易な注解書シリーズ等。母国イギリスのみならず、アメリカ合衆国でもその名声はつとに知られており、英

語圏では屈指の新約聖書学者である。なお、イギリス国教会の第四位の高位であるダラムのビショップの任にあつたが、2010年8月をもって退位、同年9月よりスコットランドのセント・アンドルーズ大学で教鞭をとる。2019年より、オックスフォード大学のウィクリフ・ホールのシニア・リサーチ・フェローに就任。Wiki

●マトリクス解説と周辺事情 ご存じの通り、キリスト教は大きくカトリックとプロテスタントに分かれ、プロテスタントは「主流派」と「福音派」に分かれる。福音派は聖書66巻を「誤りなき神の言葉」と理解するグループだが、現在、福音派と称しながら主流派的な教義を主張する牧師たちが増加しているらしい。つまり「聖書は人間が書いたもので間違いが含まれる」「聖書の信じられない(信じたくない)部分は信じなくて良い」とする考えだ。私は30年ほど前のNHK番組をよく覚えている。アメリカの複数の牧師が相談して、「聖書のこの部分はイエスが言ったとは思えない」として、自分たちの感覚で区別して、実質、聖句を削除していた。それが濁流のように日本に来た。LGBTQや同性婚を肯定する牧師・教師たちだ。いのちのことは社は完全に墮ち、クリスチャン新聞も似たようなものだ。・・・その大元がN.T.ライトなのだ。

①「N.T.ライト」と「女悪魔」「詐欺/だまし取る」が交差➡女は教会の比喩。つまり教会内で悪魔が暗躍し、信者の永遠の生命が奪われる。②その策略は「信者を霊的盲目にし、判断力を失わせる」というもの。③「N.T.ライト」は「苦さ」「漏れ口」である。「苦さ」は神が嫌われるものを意味し、「漏れ」は城壁の崩れや破れ箇所に該当し、霊的な「教義の破壊」。

「N.T.ライト」のような教会内部から教義破壊する霊的テロリストを「破門/追放」せよと、神は厳命する。これに与する者は永遠の命を失う。